

<最終版>

※印の付いているキーワードは試験対策のポイントスライドに掲載しています。

調査部門・主任技士（調査関係ほか16問、設計施工関係ほか7問、計算問題、記述問題）

問題	項目	出題の内容
1	地形・地質	堤間湿地、侵食段丘と堆積段丘、埋没谷、海岸平野
2	〃	地形の形成、自然堤防、砂丘、砂嘴、分岐流路と三角州※
3	土質	粒径加積曲線※、細粒分含有率、土の分類、均等係数、分級された土
4	〃	圧密降伏応力※、圧密度、一次と二次圧密※、沈下量の計算方法※
5	〃	透水係数、圧密係数、液性・塑性限界、三軸圧縮試験の種類※
6	地盤の液状化	非液状化層厚と液状化層厚を正しく評価し、液状化の判別を行う※
7	事前調査	L型擁壁、谷埋め盛土の宅地、近隣ボーリングデータ、改良地盤での建替え
8	読図	谷底侵食低地、谷壁斜面の側刻、網状流路※
9	各種調査法	ボーリングと標準貫入試験、柱状図、ベントナイト泥水、土質定数、ハンマーの落下方法
10	SWS試験	土質の判別、水位の測定、試験孔からのサンプリング、貫入障害物
11	サンプリング	固定ピストン式シウォール※、STPサンプラー、SWS試験孔の利用、ハンドオーガ※
12	試験結果と考察	調査深度と評価、自沈荷重と地盤評価、硬質層下部のデータ、地層境界
13	〃	SWS試験の追加調査、大型動的コーン貫入※、三成分※、平板載荷※、腐植土の試験
14	〃	切盛造成、有機質土と自沈層、盛土下部の異常値、砂丘地の評価
15	盛土	段切り※、転圧、スレーキング※、盛土材と液状化
16	擁壁	L型擁壁の変状形態、滑動、転倒、沈下、円弧すべり
17	地盤補強工法の選定	事前配合試験、支持地盤の傾斜、鋼管の設計条件、表層の改良厚
18	補強材料	セメント系固化材、木杭※、コンクリートパイル、鋼管の短期許容ねじり強さ
19	表層地盤改良	改良厚、設計基準強度、応力分散角と改良出幅、改良下部地盤
20	柱状地盤改良	モールドコアの採取位置と箇所数、天端レベル、芯ずれ
21	小口径鋼管	アーク溶接、鋼管長の規定、周面摩擦、管理トルク値と打ち止め
22	小口径既製コンクリートパイル	支持地盤、頭部処理、パイルの配置、支持地盤の確認
23	法令	建築基準法、瑕疵担保履行法、品確法
24	計算	砂置換法による土の密度試験結果から乾燥密度を求める。*
25	記述	宅地の既存擁壁の安全性について調査すべきことを記述する。